

J A 共済カップ山形県学童軟式野球大会 2026
兼 第24回東北学童軟式野球新人大会山形県予選大会

開 催 要 項

1. 主 催 山形県野球連盟
2. 主 管 米沢地区野球連盟
3. 後 援 山形県・（公財）山形県スポーツ協会、山形県野球スポーツ少年団協議会
ナガセケンコー株式会社、（株）共同写真企画
4. 特 別 協 賛 J A 共済（全国共済農業協同組合連合会山形県本部）
5. 会 期 2026年9月5日（土）～6日（日）雨天順延
6. 会 場 米沢市営野球場（皆川球場）
米沢市塩井町塩野1369番地 ☎0238-24-8989
7. 日 程

	9月5日（土）	9月6日（日）
開始式	8時30分	準決勝第一試合 9時00分
第一試合	9時00分	準決勝第二試合 11時00分
第二試合	11時00分	決 勝 13時30分
第三試合	13時00分	
第四試合	15時00分	
8. 参 加 資 格
 - （1）全日本軟式野球連盟規程第6条第3項（2）学童部に規定する小学生で編成されたクラブチームとし、学年は5年生以下とする。
 - （2）各地区予選会で優勝し、当該地区連盟会長の推薦を受けたチーム、及び地元地区連盟管内から当該地区連盟会長の推薦を受けたチームとする。
9. 参 加 チーム 山形2・新庄1・米沢1・鶴岡1・酒田1・開催地（米沢地区）1と前年度開催地（酒田地区）1の合計8チームとする。
10. 適 用 規 則 2026年公認野球規則及び（公財）全日本軟式野球連盟大会規則並びに大会特別規則を適用する。
11. 試 合 方 法
（大会特別規則）
 - （1）トーナメント方式とし、全試合6回戦とする。暗黒、降雨などで6回迄進まなくとも、5回を終了すれば試合は成立する。
 - （2）健康維持を考慮し、5回終了前であっても試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回をもって勝敗を決する。
 - （3）6回を完了して同点の場合、または、試合開始後1時間30分を経過し同点の場合は、いずれもタイブレーク方式により勝敗を決する。
 - （4）全試合4回以降10点差、5回以降7点差のコールドゲームを適用する。
 - （5）選手の健康を考慮し、投手の投球制限を設ける。1試合かつ1日の投球数は70球以内とする。4年生以下は60球以内とする。
 - （6）指名打者ルールを使用することができる。ただし、二刀流選手を採用しない。（競技者必携P55～57を参照のこと）
12. 使 用 球 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号を使用する。
13. 大 会 規 律 不正出場その他の規律違反に対しては、全日本軟式野球連盟規則、細則により処理する。

14. 参 加 申 込 参加申込みは試用期間（過渡期）のため、下記2つの申込みとする。
- ①出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、8月26日（水）までに必着するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。
- 米沢地区野球連盟副理事長 平山友也 yonezawahirayama@ymail.ne.jp
- ②各地区野球連盟事務局は、代表チームが決定したら速やかに県連事務局へ報告する。報告様式は、山形県予選会代表チーム報告様式を用いる。各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。申込締切日は8月26日（水）とする。
15. 参 加 料 1チーム20,000円とする。（受付のとき納入すること）
メンバー交換時に試合球3個（12の大会使用球参照）を持参すること。
16. 組 合 抽 選 本大会の組合せは、2026年2月21日県連評議委員会の席上において厳正に抽選した結果、別紙のとおりである。
17. 監督主将会議 行わない。
18. 開 会 式 行わない。開始式を行うので第1試合の2チームは全員参加すること。
19. スポーツ安全傷害保険・共済の加入について
スポーツ傷害保険の加入を義務付けることを特に徹底すること。
未加入チームは出場できないこととする。
20. 表 彰 第1位チーム・・・優勝旗（持ち回り）・優勝カップ・賞状・優勝メダル
第2位チーム・・・準優勝カップ・賞状・準優勝メダル
第3位チーム・・・賞状
★優勝チームには、10月3日～4日に秋田県北秋田市で開催される第24回東北学童軟式野球新人大会の出場権を与える。
21. そ の 他
- (1) 参加申込書中の「守備」欄は、投手、捕手、内野手、外野手を記入のこと。
また、守備位置にかかわりなく、主将以下は背番号の若い順で記載のこと。
参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は原則認めない。
参加申込書に、学童コーチの有資格者・登録番号を記載し提出すること。
- (2) ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。
熱中症対策として、保護者2名を必ずベンチに入れること。
- (3) チーム代表者、監督およびコーチは18歳以上とし、チーム代表者はチームの引率、応援団等を含めてすべての責任を持つこと。
- (4) 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、初日の第1試合で対戦するチームは開始式があることから試合開始予定時刻の45分前とする。第2試合以降は前の試合の3回終了時に監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
2日目の第1試合は試合開始予定時刻の30分前とし、第2試合は前の試合の3回終了時とする。なお決勝戦は、第2試合終了の15分後とする。
- (5) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、連盟公認のものを使用しなければならない。

- (6) 捕手用のマスク（スロートガード付）は、SGマークのついた連盟公認のものを使用しなければならない。2025年から義務付けされている。
- (7) 捕手は、連盟公認のレガース・プロテクター・、SGマークのついた捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用しなければならない。捕手のヘルメットは、マスクと一体になっているものの使用は禁止とする。控えの捕手も同様とする。
- (8) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークのついた連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。学童部はすべて両側にイヤーフラップのついたものとする。
- (9) 学童部では、一般用バットのうち、打球にウレタン、スポンジ等素材の弾性体を取り付けたバットの使用を2025年より禁止する。一般用バットであっても、上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合（金属／カーボン）バットについては、使用制限は行わない。
- (10) 金属製スパイクの使用を禁ずる。
- (11) 関節の障害防止のため、まだ骨の未熟な学童部の投手は変化球を禁止する。投球が変化球かどうかは球審の判断による。変化球を投げた場合はペナルティを科すこととする。ペナルティの詳細は、競技者必携P50のとおりとする。
- (12) 本大会に参加する際、健康保険証等、これに準ずるものを持参すること。
- (13) ボールパーソン及びグラウンド整備は、各チームも協力をお願いします。
- (14) シートノックは5分間とする。ただし、グラウンド状況や選手の健康維持を考慮し、行わない場合もある。
- (15) シートノックを行う場合、補助員としてコーチ（背番号29番・28番）を認める。ダートサークルに入る補助員はヘルメットを着用すること。
また、コーチ1人のブルペン捕手を試合開始前までは許可する。この場合マスクを着用すること。試合開始後、コーチはベンチから出てはならない。但し、捕手が攻守交代時にベンチ前で防具着用をする際の補助は認める。
- (16) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置のみとし、それ以外の責任は負わない。
- (17) 前年度優勝チーム（酒田地区）の地区代表は、優勝旗を忘れずに持参すること。
- (18) 原則として雨による順延もあるので、学校との連絡等を密にすること。